

2026 年 7 月 15 日

各 位

会 社 名 株式会社フライトソリューションズ
代表者の役職 代表取締役社長 片 山 圭 一 朗
氏 名
(コード番号:3753 東証スタンダード)
問 い 合 せ 先 代表取締役副社長 松 本 隆 男
I R ・ 広 報 室 長 金(こん) 浩 樹
電 話 番 号 03-3440-6100 (代)

フライトソリューションズ、フェリカネットワークスの 学生証プラットフォームに本人確認技術で参画 ～大学の枠を超えて利用できる標準デジタル学生証の実現へ共創～

株式会社フライトソリューションズ(本社:東京都渋谷区、代表取締役社長 片山圭一郎、以下 当社)は、フェリカネットワークス株式会社*1(本社:東京都品川区、代表取締役社長 赤井田徹郎、以下 フェリカネットワークス)が推進する学生証プラットフォームに対応するため、本人確認ソリューション「myVerifist (マイ・ベリフィスト)」の機能拡張を進めます。

近年、大学 DX の推進に伴いデジタル学生証の導入が広がっています。デジタル学生証は、紙やカードの学生証を電子化するだけでなく、大学の枠を超えてさまざまなサービスで利用できるデジタル ID として期待されています。一方で、誰もが安心して利用できるデジタル学生証を実現するためには、検証方式やデータ形式の標準化が重要な課題となっています。

こうした課題の解決に向け、国際標準規格 mdoc*2を採用し、多様なパートナーとの共創によるエコシステムの形成を目指すフェリカネットワークスの学生証プラットフォームに対し、当社の myVerifist を対応させることで、デジタル学生証の検証機能の提供を可能とし、安全で信頼性の高い本人確認を支えます。

myVerifist の対応により、デジタル学生証の真正性を確認したうえで、対面／非対面（オンライン）にて安全かつ信頼性の高い本人確認を行うことが可能となります。想定される活用シーンは以下のとおりです。

- ・ 大学内での各種手続きや施設利用時の本人確認
- ・ 大学間連携における所属大学を含む本人確認
- ・ 研究施設の利用申請に関わる厳格な本人確認

- ・学割など民間サービスにおける学生資格の確認

このように、デジタル学生証は大学内で利用する証明書にとどまらず、大学やサービスの垣根を越えて活用できるデジタル ID として、その利用範囲の拡大が期待されています。

当社は今後も本人確認技術を通じて、教育分野をはじめとするデジタル ID の社会実装に取り組み、安全で信頼性の高い本人確認基盤の普及に貢献してまいります。

*1 [フェリカネットワークスの学生証プラットフォームについて](#)

*2 **mdoc** : 運転免許証をスマートフォンに格納するための技術方式として登場し、ISO/IEC 18013-5 として国際的に標準化されています。本技術方式「mdoc」は、北米・豪州・欧州を中心に採用が進んでおり、マイナンバーカードの機能をスマートフォンに搭載する際の方式として国内での採用の予定も案内されています。①対面での提示のみならずインターネット等の通信経路を介した提示もできる ②他のデバイスに複製ができず、提示された情報が正当な利用者のものであるかどうかの検証ができる ③利用者の同意に基づいて必要な情報だけを提示することができる ④提示先の信頼性を事前に確認できるなど、デジタル学生証の用途においても優れた特性を持つ技術方式です。

以上